

令和5年度 三郷市学校評価システム **三郷市立早稲田中学校** 学校自己評価報告書

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.47	4.00	R4.3.27→R5.3.47 ・校長の学校経営方針の下、各目標を設定し、組織的に取り組んでいる。 ・生徒、保護者、地域の実情を常に把握し、状況を見定めながら、各種意見を織り交ぜながらより適切な目標を設定していきたい。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.30		R4.3.09→R5.3.30 ・主幹教諭を中心にPDCAサイクルを用いて取組を実施している。 ・各種会議で計画を話し合い、取組を進めている。生徒、保護者、教職員の学校評価を実施しており、来年度の改善策や行事の精選等についても検討している。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.27		R4.3.24→R5.3.27 ・特色に「国際人を目指す早稲田中～新聞を活用して世界に目を向けよう～」を掲げている。 ・授業、コミュニケーショントレーニング等、新聞記事を活用する機会を増やし、世界に目を向けている。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.27	3.57	R4.3.12→R5.3.27 ・キャリア教育の一環として、起業家講座、看護師による講演、その他、出前授業を多数実施した。 ・単発ではなく効果的に実施できるよう、より計画的に行いたい。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.60		R4.3.81→R5.3.60 ・校長が掲げた目指す教師像のもと、責任と自覚をもって教育活動に取り組むことができた。 ・教頭を中心に、定期的に倫理確立委員会を実施。打ち合わせ等でも注意喚起するなど、取り組んでいる。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.50		R4.3.52→R5.3.50 ・学校課題研修について個別最適な学びについて共通理解のもと取り組むことができた。 ・県指定のメンタルヘルス研修に加え、人権問題等の新しい教育課題についても計画的・組織的に進めた。
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.30		R4.3.18→R5.3.30 ・個に応じた指導を生かした授業に取り組むことができた。また、相互授業参観の実施により、他の授業から学び、授業改善に取り組んだ。 ・今後も生徒が学びたいと思える授業づくりに向け、学校全体で授業力向上に取り組んでいく。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.27		R4.3.09→R5.3.27 ・水曜日に計画的に補習に取り組み、個に応じた対応ができた。 ・授業形態の工夫、ICTの効果的な活用を引き続き取り組むことに加え、学習内容の定着のために、家庭学習の充実を検討していく。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.30		R4.3.33→R5.3.30 ・授業の心得については「挙手して発言」、「類枝、居眠り、横すわり」に課題がある。 ・各種キャンペーンに取り組んでいる。今後は意図的、計画的に実施し、定着を図る。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.27	3.29	R4.3.21→R5.3.27 ・2分前席前に取り組んでおり、落ち着いた雰囲気のもと授業ができるよう取り組んでいる。 ・学級の実態に応じた授業を展開することができている。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.47	4.00	R4.3.55→R5.3.47 ・学校図書により、読書活動が充実している。 ・PTAの補助を活用して図書を購入するなど、計画的に本を入れ替えている。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.23	3.57	R4.3.46→R5.3.23 ・図書委員会の生徒が作成したポップを地域の図書館に掲示するなど、工夫した活動を行っている。 ・学校図書館をどう活用するか、教師主体の取組、生徒主体の取組を実施することが課題である。
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.17		R4.3.42→R5.3.17 ・昨年度と比較すると、食事マナーについて指導する場面が増えている。食事マナーが「なぜ」必要なのか、授業やキャンペーンを通して考えさせる機会を設けていく。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.37	3.29	R4.3.30→R5.3.37 ・保健体育科は課題である持久力向上に向け、計画的に取り組んでいる。また、校内行事を計画し、意欲的に取り組むよう指導している。 ・外遊びに意欲的な生徒も多く、部活動に懸命に取り組む生徒も比較的多いが二極化が課題である。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.17		R4.3.39→R5.3.17 ・学年職員とのローテーションによる道徳授業を展開しており、1人1人の指導力向上に努めている。 ・より道徳教育が推進されるよう、教材の共有や道徳コーナーの設置などを検討していく。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.30		R4.3.24→R5.3.30 ・各学年の模範となる生徒に校長賞、各種キャンペーンを実施し、優れた生徒を表彰するなどの取組を行っている。 ・より研修を深めていき、教科横断的な教育活動による道徳力の向上に努めていく。
生徒指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.37		R4.3.27→R5.3.37 ・丁寧な言葉遣い、清掃活動、挨拶運動等において、教職員は率先垂範を心がけている。 ・よりよい生徒の模範となるために、教育公務員としての自覚をもった言動をより行うよう、さらに共通理解を高めていく。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。★	3.57	3.71	R4.3.30→R5.3.57 ・生徒による模範、来校者に対しての挨拶は立派である。教職員の指導に加え、上級生・生徒会・生活委員の姿を見て、下級生が真似をして言っているところもある。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.03		R4.3.00→R5.3.03 ・2年生は職場インタビュー、3年生は面接指導を行っており、場に応じた言葉遣いを学び、実践している。 ・TPOに応じた言葉遣いができるよう、適宜指導していく。
	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.57		R4.3.39→R5.3.57 ・各会議での共通理解、緊急時の会議等で、共通理解を図り、未然防止、早期対応、早期対応に努めている。 ・会議の内容は担当者から各学年に報告し、周知している。全体でも周知すべきことは周知し、組織的に取り組んでいる。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.53		R4.3.45→R5.3.53 ・保護者と連携し、生徒の指導に努めている。 ・状況に応じて、SOやSSW、外部機関との連携にも取り組むことができていく。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.73	3.71	R4.3.58→R5.3.73 ・「いじめ防止対策推進法」、「学校いじめの防止のための基本的な方針」に則り、早期発見、早期対応に努めている。
安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.33		R4.3.36→R5.3.33 ・指示系統は回られており、迅速に対応できる体制は整えられている。 ・各種マニュアルの見直し。より迅速に対応できるよう体制づくりに努めていく。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.07	3.29	R4.3.21→R5.3.07 ・安全点検を実施し、予算の範囲内で優先順位をつけて修繕したり、教職員で修繕したりして対応している。 ・全校集会等で安全指導を繰り返したり、学校だよりで周知するなど、啓発にも努めている。
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.00	3.43	R4.3.30→R5.3.00 ・無言清掃の徹底が昨年度ほどされていない。計画的にキャンペーンを行うなどし、意識を高めていきたい。 ・掲示にもより力を入れ、環境美化に取り組んでいく。
	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.33		R4.3.15→R5.3.33 ・職務内容の精選、職員一人一人の意識改革は進んでいるが、学校だけでは改善されないため、さらなる工夫が求められる。
家庭・地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.53	4.00	R4.3.82→R5.3.55 ・HP、学校だより、メール配信等による情報発信に努めている。特にHPは生徒の様子を積極的に紹介している。 ・学校だよりは生徒が各自自治会に配布するなどし、地域の方も閲覧できるように取り組んでいる。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.53	4.00	R4.3.24→R5.3.53 ・「40周年式典」、「大人としゃべり場」を実施し、地域の方々や保護者と生徒が交流することができた。 ・地域と連携し、校庭の除草作業や木々の剪定を行っていた。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.67	4.00	R4.3.51→R5.3.68 ・早中フェスティバルはPTA、卒業生を含む地域の方の協力を得て大盛況であった。花植・除草作業、家庭教育学級等のPTA活動を開催した。 ・育成会主催のクリーン作戦も実施することができた。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。